



盛岡市プレスリリース

～性別等に関わらず誰もが尊重され活躍できるまち盛岡の実現～

令和6年12月6日
盛岡市市民部
市民協働推進課
男女共同参画推進室

市政記者クラブ加盟社 各位

もりおか女性センター ニュースレターについて

情報紙「もりおか女性センター ニュースレター No.110」を発行しました。

今号では、わたしたちの生活とジェンダーとの関わりについて、2024年にあった出来事から考える機会としていただくために、「気候変動」「オリンピック」「紛争」をテーマとした記事を掲載しております。

また、例年開催しております「もりおか女性センターフェスティバル2024」についてのお知らせと、今年度発足した市民団体の活動についてもご紹介しております。

「起業応援ルーム『芽でるネット』」からは、12月より開催いたします「女性起業芽でる塾」についてのお知らせを掲載しております。

記

【掲載内容】

- (1) わたしたちの生活とジェンダー 2024
- (2) 開催事業、市民団体のお知らせ
- (3) 起業応援ルーム「芽でるネット」から

【問い合わせ先】

もりおか女性センター
担当：畑中（はたなか）
TEL：019-604-3303

R7.
2/8
(sat)

12/1からスタートした女性の起業を応援する講座「女性起業芽でる塾」。最終回は公開講座です。
今年は「もりおか女性センター フェスティバル2024(映画会)」と同時間開催！

女性起業芽でる塾 公開講座Ⅱ

参加無料

【先輩女性起業家講演会】

10:00-12:00

※おでって大会議室(プラザおでって3F)

【先輩女性起業家】

♡ 佐藤 忍さん
(Atelier blanche KITCHEN店主)

動物性を使用しない植物性のお菓子『VEGAN SWEETS』を開発・販売。盛岡市に工房を構え、工房での販売の他、岩手県内外のイベントなどで幅広く活動中。



ファシリテーター：田中靖広さん
(盛岡信用金庫 営業推進部 地域応援課長)

＜講演会＞

対象：テーマに関心のある方
(起業を目指している、起業に関心がある、
起業している女性優先)

定員：30人

申込：二次元コード、
または電話 (019-604-3303)
にて受付中！



▲申込フォーム

【女性起業家によるチャレンジショップ】

12:00-15:00

※もりおか女性センター交流コーナー(プラザおでって5F) 他

起業を目指す女性たちの出店体験＆先輩女性起業家のマーケットです。Atelier blanche KITCHENも出店予定！

起業応援ルーム 芽でるネット

〒020-0871 岩手県盛岡市中ノ橋通1-1-10 プラザおでって1階

電話 (019) 604-3303

開室日時 月曜日～金曜日 10:00～12:00/14:00～17:00

休業日 土日祝、毎月第2火曜日、年末年始

最新情報は、Instagramをチェック！



事業のお知らせ他にもお部屋の様子や出店体験のスケジュールなどを投稿しています。是非フォローして情報をGETしてください。

WEBPAGE.NET.2023

相談

受付電話 019-604-3304 相談開設時間 月・火・金 10:00～17:00
相談は無料です。秘密はかたく守ります。 水・木 10:00～20:00

●女性相談

女性がかかえる、家庭や職場、身の回りのさまざまな悩みを、専門の相談員が一線に考えます。性別や社会通念にとらわれず、一人ひとりの生き方を尊重する社会の実現をめざして、相談室はあなたらしい生き方を支援します。電話相談と面接相談があります。(予約の方優先)
また、メール相談も受け付けます。ホームページの相談フォームから

●男性相談

男性の相談員による電話、もしくは面接相談。予約が必要です。原則毎月第2土曜日に実施予定。場所などの詳細はホームページでご確認ください。

●LGBT相談

電話相談のみ。予約が必要です。

女性限定

ウィメンズサロン・ゆりり
気軽にしゃべりたい方
静かに自分の時間を過ごしたい方
すこしだけ笑顔から溢れて落ちる場所

12/25(水)
2/26(水)
17:00～19:00

お気軽に
お立ち寄りください♪

プラザおでって1階
起業応援ルーム 芽でるネット



アンケートにご協力ください

もりおか女性センターニュースレターでは、今後のより良い紙面づくりのため、アンケートを実施しています。ご意見、ご感想、取り上げてほしいテーマなど、Googleフォームにてお受けいたします。

発行日：令和6年12月9日

発行：もりおか女性センター

(指定管理業務：指定非営利活動法人 映画プランニングいわて)

〒020-0871 岩手県盛岡市中ノ橋通1-1-10 プラザおでって5階

電話番号 (019) 604-3303 FAX (019) 601-4031

開館時間 月曜日～金曜日 9:00～21:30 (土日祝17:00まで)

休館日 毎月第2火曜日、年末年始



最新の情報は
ホームページから！



事業のご案内、スタッフのつゆやき...



X (旧Twitter)



Instagram

もりおか女性センター 2024年度事業テーマ「チェンジ！誰もが自分らしく生きる未来へ」

もりおか女性センター

ニュースレター

News Letter N°110
2024.12

特集

わたしたちの生活と
ジェンダー

2024年
どんな年だった？

- 学ぶ → 学習・研修の機会の場合
- 出会う・力をつける → 活動促進・交流の場合
- 信じる・考える → 相談
- 考えを深める → 調査・研究事業
- 知る → 情報提供・収集場所

もりおか女性センターは、
女性の自立と社会参画を支援するとともに
男女共同参画を推進する拠点です。



2024年はどんな年だった？

わたしたちの生活とジェンダーについて考えてみましょう

気候変動とジェンダー

今年、みなさんはどんなことから「気候変動」を実感しましたか？気候変動は、命と生活に関わる問題であり、ジェンダーとも深い関係があります。

まずは世界に目を向けてみましょう

気候変動は、途上国で深刻な問題を引き起こしています。例えば、水汲みが女性の役割とされる地域では、干ばつにより遠方まで水を求める必要が生じ、学校に通えないなど社会参加の機会を失うことがあります。また、農産物の水不足は健康被害や性暴力のリスクを伴います。さらに、難民の多くが女性や子どもであり、自然災害での女性の死亡率が高い傾向も報告されています。

オリンピックとジェンダー

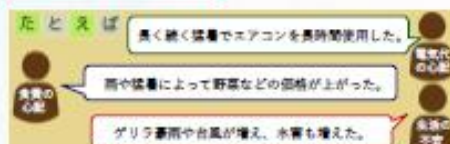
7月から8月にかけて、フランスのパリで開催された第33回オリンピック競技大会。この大会は、ジェンダー平等の理念のもと初めて出場選手の男女の比率を50%ずつにするという目標を掲げて開催されました。1896年にアテネで開催された第1回近代オリンピックで女性が出場できなかった歴史を考えると、約128年の歳月をかけてようやく到達したジェンダー平等の大きな節目となりました。

スポーツとトランスジェンダー

この成果の一方で、男性から女性に性別移行したトランスジェンダー女性がトップレベルの大会に出場することを制限する動きが強まっています。「公平性が保たれない」「不公平だ」の声があるなど、2015年頃からSNSを中心に、トランスジェンダー女性に対してのバッシングが激化しています。指導者やチームメイトのジェンダー意識の偏りなど、トランスジェンダーにとって非常に抑圧的なものになりやすいのです。

どのような性自認や性的指向でも、一線にできる、一線に盛り上がることはできる。それは、スポーツがもたらす可能性ではないでしょうか。

私たちの生活への影響は？



日本は、女性の多くが非正規雇用で、経済的脆弱性が懸念されています。異常気象による猛暑の中、電気代高騰によりエアコンの使用をためらう、食料品価格の高騰によって食費を削る、生活の困難で医療費もかけられない…そういった“生活に不可欠なもの”を削ることで過度の節約をして、人間らしい生活が脅かされる危険が指摘されています。このように、気候変動の影響は途上国とは違う形でわたしたちの生活にも及んでいます。「自分には関係ないから」と議論を止めず、一緒に考えてみませんか？

小学生の「なりたい職業」からみるアンコンシャス・バイアス（無意識の偏見）

小学生「将来のなりたい職業」ランキング	
男子児童	女子児童
① サッカー選手・監督など	① 医師
② 野球選手・監督など	② パティシエール
③ 医師	③ イラストレーター

日本の教育分野におけるジェンダー・ギャップ指数は、2024年では146か国中72位となっています。上記の表「小学生のなりたい職業」からわかるように、男女で違いが出る結果となっていることから、ジェンダー教育に対する無意識の偏見が根深く残っていることが窺えます。依然として野球やサッカーなどで注目される選手は男性の方が多く傾向にある一方、冒頭でも述べた、オリンピックで達成した男女の参加選手間数が今後のスポーツ界に何をもたらすのかを考えていく必要があると言えます。

性別・人種・宗教・国籍の壁を超えて

しかし、今期のオリンピックでは残念ながら「紛争」という課題を残しました。ウクライナ侵攻を理由にロシアとベラルーシは“国として”の参加が認められなかったのです。次期テーマは「新しい世代のための新しいオリンピック」。平和の祭典としてのオリンピックがもたらす意義を、改めて考えていきたいですね。

紛争とジェンダー

アフガニスタン、シリア、スーダン、イスラエル、そしてウクライナ…2024年も、世界のさまざまな国や地域で、いまなお紛争が起きています。

紛争地域では、女性が戦時中の性的暴力の主な被害者となることが多く、戦略的にレイプによる支配が横行し、心理的・身体的なトラウマが発生します。また、避難生活においても、性暴力や搾取のリスクが高まるほか、基本的な教育や医療にアクセスできない状況が続いています。

なぜ紛争は起こる？

- 宗教の違い
世界にはさまざまな宗教が存在しており、考え方や価値観の違いだけでなく、政治的意見や差別の問題が絡むこともあり、複雑化しやすい。
- 政権への不満
国家機構の私物化や不透明、不安定は情勢の混乱を招き、国民による反乱運動や軍事クーデターにより、内戦や紛争へと発展してしまふ。
- 民族や文化の違い
民族によって、宗教や歴史、価値観などが異なり、その違いによって紛争が勃発することもある。
- 領土・資源の奪い合い
国境が不明確だったり、各国で主張が異なったりすると、「国境紛争」や「資源紛争」につながりやすい。気候変動による影響で、水や作物をめぐる紛争も起きている。

*ジェンダーギャップ指数とは

世界経済フォーラムが毎年発表している世界におけるジェンダー格差指数のこと。男女間の政治・経済・教育・健康における平等を評価し各国の男女の格差を数値化したものです。日本は国別のランキングで146か国中118位と、前年の125位から順位を上げました。

【参考】内閣府男女平等政策室

気候変動、オリンピック、紛争。2024年にあった出来事を振り返って、わたしたちの生活とジェンダー問題とのつながりについて考えてみました。一見関係のない事象にもジェンダー問題は密接に関わっています。

これからも、多様性を尊重し合い一人ひとりが力を発揮できる、ジェンダー平等社会の実現を目指していきましょう。

紛争が超える負の連鎖を断ち切ろう

SDGsの目標16に「平和と公正をすべての人に」があります。紛争は、地球環境の破壊が進み、人が住めないようになるだけでなく、経済的弱者（特に途上国を中心とした女性）にしわ寄せが行きます。次世代教育を圧迫し、このことがさらに格差を助長し、負の連鎖を生みます。このように社会課題は全てつながっているのです。

わたしたちができること

●紛争の背景を知り、課題を共有する

2024年ノーベル平和賞は、日本原水爆被害者団体協議会が受賞しました。この受賞は、国際社会の平和への希求の表れなのでしょう。紛争のない世界を実現するためには、個人の尊厳を重んじ、非暴力な価値観を育てていくことが重要です。そのために、紛争が起こる背景（因参照）に目を向け、正しい情報を選んでいくことが求められています。

●女性が政策決定の場に参画する

暴力による解決は「力による支配」を意味します。平和構築や紛争解決の意思決定に女性が参画することで、多様な視点が反映され、持続可能な平和の実現が期待できます。ジェンダーの視点では、女性のみならずあらゆる立場の人をつなげる重要な要素です。まずは女性の政治参画の裾野を広げる必要があります。（ジェンダー・ギャップ指数2024政治参画分野113位/146か国中）

もりおか女性センターフェスティバル2024

2025年2月8日(土)・9日(日)

今年度は「人権」をテーマとし、難民、LGBTQ+を取り上げた映画を2作品上映します。また、市民団体活動紹介・女性起業家紹介の展示も行います。詳細はホームページまたはチラシにて！

●同時開催 女性起業家等による勉強会・チャレンジャーズ
詳細は裏面をご覧ください。

市民団体の紹介 MOYA×MOYA (もやもや)

「職場でも家庭でもない、ゆるく繋がっている場所」

今年度のジェンダー協議会「LOOK at MOYAMOYA!!」の受講生が立ち上げた自主グループです。活動にあたり「無理をしない」をモットーに、2か月に1回のペースで活動されています。

【活動内容】
テーマを決めての座談会
【次回のテーマ】
「職場・家庭でモヤモヤしていること」
「自分のケアとメンテナンス」

メンバーは、同年代だけでなく、同世代ではない。子の年齢も様々。活動はまだ始まったばかり。手探りでゆるく繋がっているとのこと。